Course number U-LAS05 20036 LJ31												
	ラテン・アメリカ現代社会論 Latin America at Present					Instructor's name, job title, and department of affiliation			Center for Southeast Asian Studies Professor, MURAKAMI YUUSUKE			
Group Humanities and Social Sciences Field						(Classification)			Regions and Cultures(Issues)			
Language of instruction Japanese				Old (	group	Group A	<b>L</b>		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks				cture ace-to-face course)				Year/semesters		2025 • First semester		
Days and periods	Wed.2				All stud	All students		Eligible students		For all majors		

# [Overview and purpose of the course]

「ラテンアメリカの政治と社会」

日本にとって、どちらかといえば馴染みのうすい中南米あるいはラテンアメリカと総称される地域を対象に、その政治と社会の特徴について論ずる。歴史的な背景や経済面での構造的制約条件をふまえつつ、またその中で形成されてきた社会と文化にも着目しながら、現代の情勢と動向について考える。ラテンアメリカ全体の概説を行うことに主眼をおく。ラテンアメリカや政治学についての基礎知識がないことを前提に講ずる。

# [Course objectives]

- ・ラテンアメリカという地域に関する最低限の事柄を理解する。
- ・ラテンアメリカを起点として、海外のほかの地域や日本のことを考える。

### [Course schedule and contents)]

以下のような課題について、1課題あたり1~3週の授業をする予定である。詳細は初回の授業 で説明する。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

- 1.授業概要説明・序論
- 2.ラテンアメリカという地域
- 3.ラテンアメリカの自然と人
- 4.ラテンアメリカの歴史
- 5.ラテンアメリカの社会
- 6. ラテンアメリカの経済
- 7.ラテンアメリカの政治

### [Course requirements]

None

## [Evaluation methods and policy]

平常点(授業内での取り組みやレポートなど)の評価による。具体的には、授業の進展に応じて課す小レポート(5つを予定)を60%、最終レポートを40%の割合で評価する。

ラテン・アメリカ現代社会論 <b>(2)</b>
[Textbooks]
nstructed during class
[References, etc.]
( References, etc. ) ntroduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
・日常生活に現れる「ラテンアメリカ」にちょっと関心をむけてみてください。
[Other information (office hours, etc.)]
オフィス・アワーは授業日(水曜日)の午後を原則とする。希望する場合は、希望日の前の週まで こ、公開しているメール宛に必ず事前の連絡をいれて希望を伝えること。